

競 技 役 員

名 誉 会 長	枡 内 秀 彦
名 誉 顧 問	達 増 拓 也
会 長	木 村 基
副 会 長	石 井 美樹子 (専 門 部 長・大船渡)
	高 橋 堅 (専門部副部長・宮 古)
大 会 顧 問	佐 藤 猛 夫 (元専門部長) 菊 池 人 見 (元専門部委員長)

委 員 長	湊 慎 一 (宮 古)
副 委 員 長	小 野 久 雄 (大 船 渡)
総 務	金 子 学 (盛岡第三) 澤 田 清 美 (不 来 方)
進 行	高 舘 信 子 (宮 古) 内金崎 智恵子 (盛岡第三)
選 手 係	牛 崎 学 (不 来 方) 荒 澤 龍 (釜石商工)
コ ー ト 係	山 田 英 之 (釜石商工) 菊 田 光 哉 (大 船 渡)
記 録 係	小 野 久 雄 (大 船 渡) 千 田 哲 幸 (釜 石)

審 判 長	永 田 昌 信 (久 慈 工)
審 判 員	天 野 謙太郎 大久保 綾 馬 佐々木 浩 章
	佐 藤 央 澤 田 正 高 橋 寿 夫
	高 橋 吉 貴 半 田 隆 之 松 永 秀 樹
	三 浦 光 仁 (以上50音順 敬省略岩手県空手道連盟)
	湊 慎 一 (宮 古) 佐 藤 早也華 (釜 石) (以上高体連空手道専門部)

大会ドクター	漆久保 潔
救 護 係	岩 城 千賀子

補 助 員	盛岡第三高等学校空手道部員 不來方高等学校空手道部員
	宮古高等学校空手道部員 釜石商工高等学校空手道部員
	釜石高等学校空手道部員 大船渡高等学校空手道部員

大会日程

◆日時

6月 1日 (土)	8:00	開場
	8:20	審判・監督会議
	9:00	開会式
	9:30	競技開始 (個人形, 個人組手 1・2回戦)
	16:33	競技終了 (予定)
6月 2日 (日)	8:00	開場
	8:20	審判会議
	9:00	競技開始 (個人組手 準々決勝～決勝, 団体組手)
	12:30	閉会式 (予定)

◆競技方法(岩手県高校総体開催要項より抜粋)

- (1) 組手競技はトーナメント方式とし、正味2分8ポイント差とする。
- (2) 組手競技において、(公財)全国高等学校体育連盟空手道専門部指定の安全具を着用すること。(女子は、ボディプロテクター、ニューメンホーⅥ・Ⅶ、赤・青拳サポーター、シンガード・インステップガードの4点セットを、男子はセーフティカップを加えた5点セット)
- (3) 団体組手競技は参加数が3チーム以下の場合、総当たり戦とする。
- (4) 形競技は得点制で行なう。予選ラウンドは新人大会の結果によって2グループに分割して指定形(第1・第2どちらでもよい)を演武する。準決勝ラウンド・3位決定戦・決勝はいずれも自由形(そのラウンド以前に演武していない形)を演武する。(優勝するには3つの形が必要)
- (5) 形競技予選ラウンドについては、各グループ上位4名・合計8名が準決勝ラウンドへ進出する。予選各グループ上位4名で準決勝ラウンドを行い(グループは予選ラウンドから変更はしない)、準決勝ラウンド各グループ1位同士が決勝戦へ、各グループの2位と3位が3位決定戦へ進出する。
- (6) 形競技において、上位ラウンドへの当落選上の選手が同点の場合、有効点数の中の最低点、最高点の順に比較し、それでも同点の場合には再競技とする。その際、今まで演武した形は演武できない。ただし、この再競技で使用した形は、その後の上位ラウンドで使用できる。また、グループ分けに関わる同点の場合には、グループ分けを抽選で決定する。

開会式

- 1 開会の言葉
- 2 優勝旗返還
昨年度優勝: 男子 釜石高校
女子 宮古高校
- 3 挨拶
空手道専門部長 石井 美樹子
(大船渡高校校長)
- 4 祝辞
岩手県空手道連盟
- 5 競技場の注意
審判長 永田昌信
- 6 選手宣誓
前年度優勝 釜石高校
- 7 諸連絡
- 8 閉会の言葉

閉会式

- 1 閉会の言葉
- 2 成績発表
- 3 表彰
- 4 閉会の言葉

団体組手 過去の成績

回	年度	男 子		女 子	
		優勝	2 位	優勝	2 位
35	58	大船渡	釜石工		
36	59	釜石工	大船渡工		
37	60	釜石工	大槌		
38	61	釜石工	大槌		
39	62	釜石工	宮古	山田	宮古北
40	63	釜石工	宮古	山田	盛岡第三
41	元	釜石工	宮古	山田	宮古
42	2	釜石工	宮古北	宮古	山田
43	3	釜石工	宮古	宮古	大船渡
44	4	釜石工	山田	山田	宮古
45	5	釜石工	宮古	宮古	山田
46	6	釜石工	山田	山田	宮古北
47	7	山田	宮古	山田	不来方
48	8	釜石工	山田	山田	宮古
49	9	釜石工	宮古	山田	宮古
50	10	山田	釜石工	山田	宮古
51	11	釜石工	釜石南	宮古	山田
52	12	釜石工	釜石南	宮古	山田
53	13	釜石工	釜石南	宮古	山田
54	14	釜石工	盛岡農	山田	宮古
55	15	釜石工	釜石南	山田	釜石南
56	16	釜石工	釜石南	宮古	釜石南
57	17	釜石工	盛岡中央	釜石南	宮古
58	18	釜石南	釜石工	宮古	釜石南
59	19	釜石工	釜石南	釜石南	山田
60	20	釜石工	釜石	釜石工	大船渡
61	21	釜石	釜石商工	山田	釜石商工
62	22	釜石	釜石商工	釜石	釜石商工
63	23	釜石商工	釜石	大船渡	山田
64	24	釜石	大船渡	釜石	釜石商工
65	25	釜石	釜石商工	釜石商工	釜石
66	26	釜石商工	釜石	釜石商工	宮古
67	27	釜石	大船渡	釜石	大船渡
68	28	釜石	大船渡	釜石	宮古
69	29	釜石	大船渡	釜石	釜石商工
70	30	釜石	大船渡	釜石	宮古
71	1	釜石	宮古	釜石	不来方
72	2	開催中止(新型コロナウイルス感染症のため)			
73	3	釜石	宮古	釜石	不来方
74	4	釜石	宮古	宮古	釜石
75	5	釜石	宮古	釜石	宮古
76	6				

令和6年度 第76回岩手県高等学校総合体育大会空手道競技 タイムテーブル

月 日	時 間	競技種目
6/1(土)	9:00	開会式
	9:30	
	10:06	女子個人形 予選A組 (4分×9人)
	10:42	女子個人形 予選B組 (4分×9人)
	11:26	男子個人形 予選A組 (4分×11人)
	12:06	男子個人形 予選B組 (4分×10人)
	12:06	昼休み44分(12:06～12:50)※進行状況で変更の場合あり
	12:50	
	13:06	女子個人形 準決勝A組 (4分×4人)
	13:22	女子個人形 準決勝B組 (4分×4人)
	13:38	男子個人形 準決勝A組 (4分×4人)
	13:54	男子個人形 準決勝B組 (4分×4人)
	14:10	女子個人形 3位決定戦 (4分×4人)
	14:26	男子個人形 3位決定戦 (4分×4人)
	14:34	女子個人形 決勝戦 (4分×2人)
	14:42	男子個人形 決勝戦 (4分×2人)
	14:42	組手会場準備15分※進行状況で変更の場合あり
	14:57	
	15:13	女子個人組手1回戦 (No.1～4) (4分×4組)
	15:29	男子個人組手1回戦 (No.1～4) (4分×4組)
	16:01	女子個人組手2回戦 (No.5～12) (4分×8組)
	16:33	男子個人組手2回戦 (No.5～12) (4分×8組)
6/2(日)	9:00	女子個人組手準々決勝 (No.13～16) (4分×4組)
	9:16	男子個人組手準々決勝 (No.13～16) (4分×4組)
	9:32	女子個人組手5位決定戦 (No.17～18) (4分×2組)
	9:40	男子個人組手5位決定戦 (No.17～18) (4分×2組)
	9:48	女子個人組手 準決勝 (No.19～20) (4分×2組)
	9:56	男子個人組手 準決勝 (No.19～20) (4分×2組)
	10:04	女子個人組手 決 勝 (No.21) (4分)
	10:08	男子個人組手 決 勝 (No.21) (4分)
	10:12	女子団体組手 準決勝 (No.1,2) (20分×2組)
	10:52	男子団体組手 準決勝 (No.1,2) (20分×2組)
	11:32	女子団体組手 決 勝 (No.3) (20分×1組)
	11:52	男子団体組手 決 勝 (No.3) (20分×1組)
	12:12	
	12:30	閉会式

女子個人形（初日）

予選A組（赤帯）指定形

	氏名	学校名	形名	得点					合計	順位
1	葛巻 玲	不来方								
2	昆 穂乃花	宮古								
3	吉田 美桜	盛岡第三								
4	櫻井 宇実	盛岡第三								
5	小川 結暖	釜石								
6	高橋 七海	盛岡第二								
7	及川 未愛	不来方								
8	岸里 遥那	久慈								
9	高橋 愛里	釜石								

予選B組（青帯）指定形

	氏名	学校名	形名	得点					合計	順位
1	佐々木 海鈴	不来方								
2	山崎 ひな	盛岡第三								
3	松草 こころ	盛岡第三								
4	奥地 姫菜	宮古								
5	船越 結衣	宮古								
6	姉帯 心音	花巻東								
7	小笠原 真衣	釜石								
8	佐野 心洵	釜石								
9	山田 優衣	不来方								

女子個人形（初日）

準決勝A組 予選A組上位4名（赤帯）自由形（抽選で演武順は決定）

	氏名	学校名	形名	得点					合計	順位
1										
2										
3										
4										

準決勝B組 予選B組上位4名（青帯）自由形（抽選で演武順は決定）

	氏名	学校名	形名	得点					合計	順位
1										
2										
3										
4										

3位決定戦① 準決勝A組2位 対 準決勝B組3位（抽選で演武順は決定）

	氏名	学校名	形名	得点					合計	順位
1	赤									
2	青									

3位決定戦② 準決勝A組3位 対 準決勝B組2位（抽選で演武順は決定）

	氏名	学校名	形名	得点					合計	順位
1	赤									
2	青									

決勝 準決勝A組1位 対 準決勝B組1位（抽選で演武順は決定）

	氏名	学校名	形名	得点					合計	順位
1	赤									
2	青									

※上位2名が長崎県佐世保市でのインターハイ(8/1～4)出場権獲得

※上位6名が秋田県秋田市での東北選手権大会(6/21～23)出場権獲得

男子個人形（初日）

予選A組（赤帯）指定形

	氏名	学校名	形名	得点					合計	順位
1	菊池 アーチ	盛岡中央								
2	川戸 倫太郎	宮古								
3	佐藤 凜汰朗	釜石								
4	佐々木 大雅	釜石商工								
5	中村 洋介	宮古								
6	鳥畑 鉄平	一関修紅								
7	関向 泰志	不来方								
8	佐藤 伶磨	釜石商工								
9	熊谷 琉亜	盛岡聴覚								
10	佐々木 楓舞	釜石								
11	久慈 董	不来方								

予選B組（青帯）指定形

	氏名	学校名	形名	得点					合計	順位
1	佐野 泰盛	釜石								
2	横沢 千星良	不来方								
3	藤村 亮太郎	盛岡第三								
4	熊谷 和樹	盛岡南								
5	佐藤 利玖	不来方								
6	川添 杏仁	宮古								
7	石橋 直樹	大船渡								
8	坂本 公稔	釜石商工								
9	佐藤 大雅	釜石商工								
10	人首 颯真	釜石								

男子個人形（初日）

準決勝A組 予選A組上位4名（赤帯）自由形（抽選で演武順は決定）

	氏名	学校名	形名	得点					合計	順位
1										
2										
3										
4										

準決勝B組 予選B組上位4名（青帯）自由形（抽選で演武順は決定）

	氏名	学校名	形名	得点					合計	順位
1										
2										
3										
4										

3位決定戦① 準決勝A組2位 対 準決勝B組3位（抽選で演武順は決定）

	氏名	学校名	形名	得点					合計	順位
1	赤									
2	青									

3位決定戦② 準決勝A組3位 対 準決勝B組2位（抽選で演武順は決定）

	氏名	学校名	形名	得点					合計	順位
1	赤									
2	青									

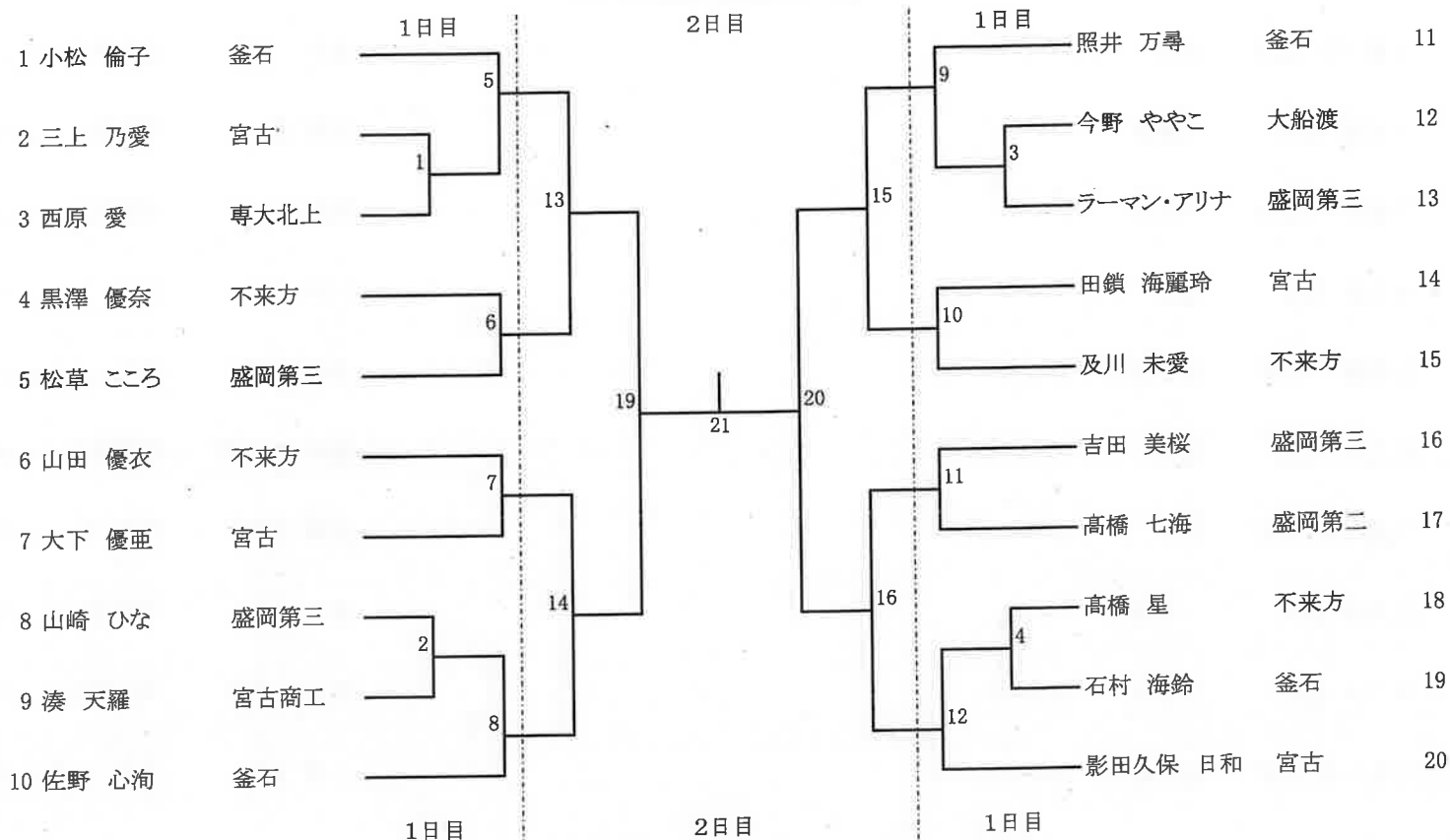
決勝 準決勝A組1位 対 準決勝B組1位（抽選で演武順は決定）

	氏名	学校名	形名	得点					合計	順位
1	赤									
2	青									

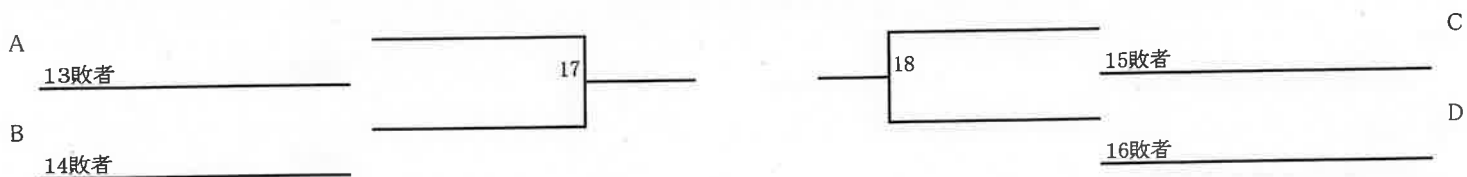
※上位2名が長崎県佐世保市でのインターハイ(8/1～4)出場権獲得

※上位6名が秋田県秋田市での東北選手権大会(6/21～23)出場権獲得

女子個人組手



東北大会出場権(5位)決定戦



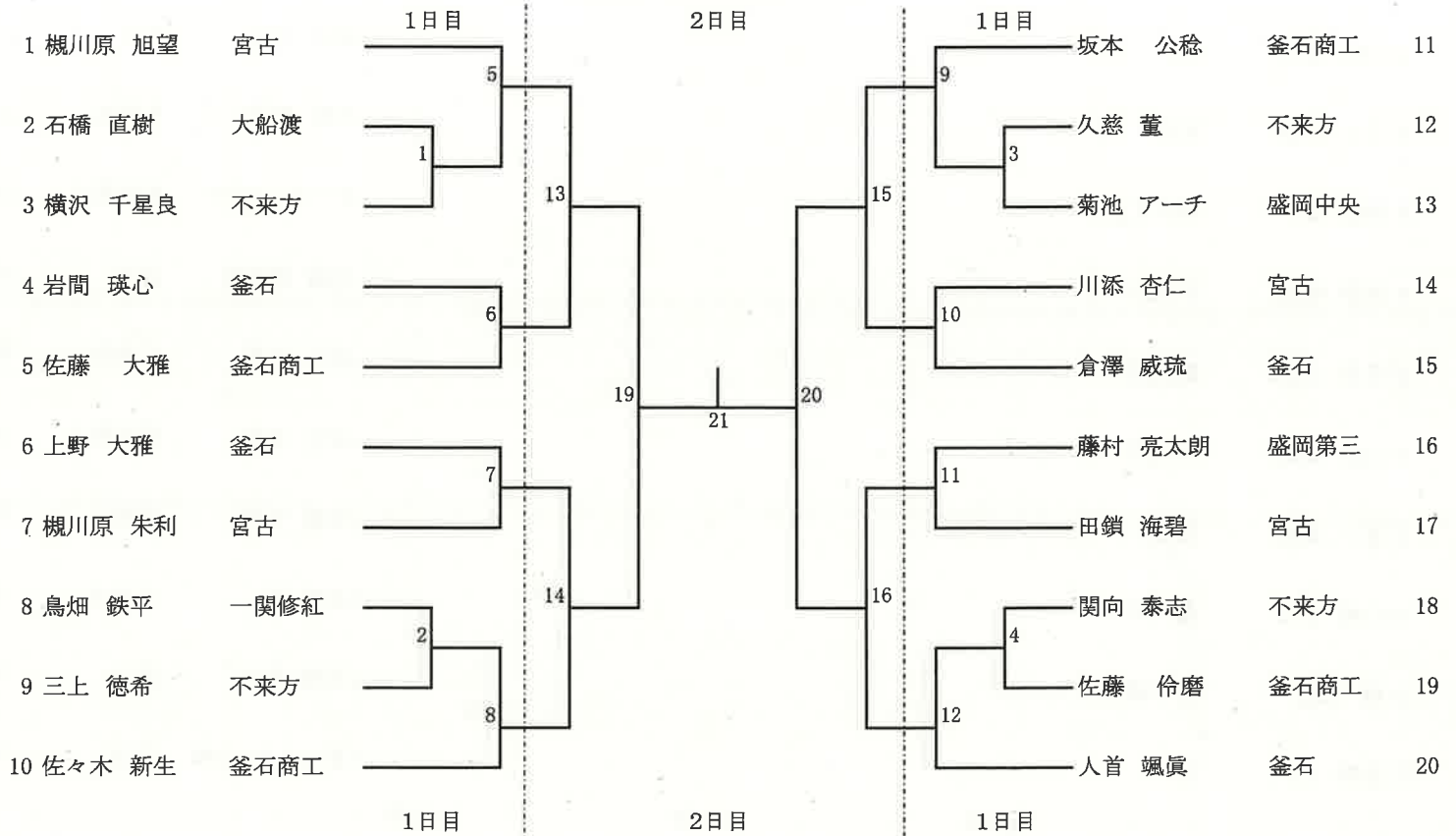
※5位決定戦の組み合わせは抽選で決定する。

- 1位
- 2位
- 3位
- 3位
- 5位
- 5位

※上位2名が長崎県佐世保市でのインターハイ(8/1～4)出場権獲得

※上位6名が秋田県秋田市での東北選手権大会(6/21～23)出場権獲得

男子個人組手



東北大会出場権(5位)決定戦



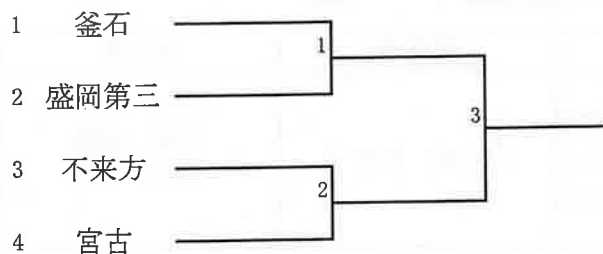
※5位決定戦の組み合わせは抽選で決定する。

1位
2位
3位
3位
5位
5位

※上位2名が長崎県佐世保市でのインターハイ(8/1～4)出場権獲得

※上位6名が秋田県秋田市での東北選手権大会(6/21～23)出場権獲得

女子団体組手(2日目)



女子団体組手決勝

	高校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	計
赤							
	勝敗・得点						
青							
	勝敗・得点						

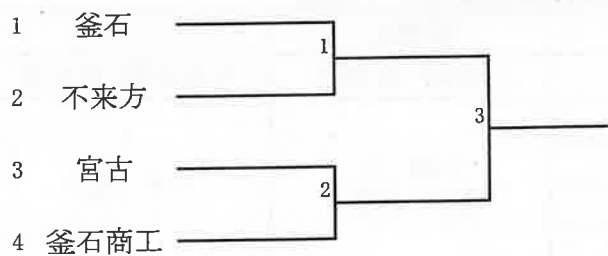
1位 _____

2位 _____

3位 _____

3位 _____

男子団体組手(2日目)



男子団体組手決勝

	高校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	計
赤							
	勝敗・得点						
青							
	勝敗・得点						

1位 _____

2位 _____

3位 _____

3位 _____

※団体組手上位1チームが長崎県佐世保市でのインターハイ(8/1～4)出場権獲得

※団体組手上位2チームが秋田県秋田市での東北選手権大会(6/21～23)出場権獲得

女子個人形出場選手一覧

No	選手名	学年	学校名	監督名	コーチ
1	吉田 美桜	3	盛岡第三	内金崎 智恵子	早坂 幸雄 飛田 龍
2	松草 こころ	3	盛岡第三		
3	山崎 ひな	3	盛岡第三		
4	櫻井 宇実	2	盛岡第三		
5	山田 優衣	3	不来方	牛崎 学 澤田 清美	半田 隆之
6	及川 未愛	3	不来方		
7	佐々木 海鈴	2	不来方		
8	葛巻 玲	1	不来方		
9	奥地 姫菜	2	宮古	湊 慎一 高館 信子	田鎖 海璃
10	昆 穂乃花	2	宮古		
11	船越 結衣	2	宮古		
12	高橋 愛里	2	釜石	佐藤 早也華	萬 文貴
13	佐野 心洵	2	釜石		
14	小笠原 真衣	2	釜石		
15	小川 結暖	1	釜石		
16	岸里 遙那	3	久慈	中渡 雅浩	岸里 直人
17	姉帯 心音	2	花巻東	中島 宏之	鹿本 順也
18	高橋 七海	2	盛岡第二	高屋 史佳	高橋 未知

男子個人形出場選手一覧

No	選手名	学年	学校名	監督名	コーチ
1	藤村 亮太朗	2	盛岡第三	内金崎 智恵子	早坂幸雄・飛田龍
2	関向 泰志	3	不来方	牛崎 学 澤田 清美	半田 隆之
3	横沢 千星良	3	不来方		
4	久慈 董	2	不来方		
5	佐藤 利玖	1	不来方		
6	川戸 倫太郎	3	宮古	湊 慎一 高館 信子	田鎖 海璃
7	川添 杏仁	3	宮古		
8	中村 洋介	2	宮古		
9	佐々木 大雅	3	釜石商工	山田英之 荒澤 龍	三松 卓
10	佐藤 大雅	3	釜石商工		
11	坂本 公稔	2	釜石商工		
12	佐藤 伶磨	1	釜石商工		
13	佐藤 凜汰朗	2	釜石	佐藤 早也華	萬 文貴
14	佐々木 楓舞	2	釜石		
15	人首 颯真	2	釜石		
16	佐野 泰盛	1	釜石		
17	石橋 直樹	3	大船渡	小野 久雄	高橋寿夫・富澤凌佑
18	熊谷 和樹	3	盛岡南	熊谷 和徳	
19	熊谷 琉亜	3	盛岡聴覚支援	吉田 翼	加賀 三郎
20	菊池 アーチ	2	盛岡中央	佐藤 祐那	菊池 真実
21	鳥畑 鉄平	2	一関修紅	四ノ宮 誠也	鳥畑 伸人

女子個人組手出場選手一覧

No	選手名	学年	学校名	監督名	コーチ
1	今野 ややこ	2	大船渡	小野 久雄	高橋寿夫 松田ほのか
2	吉田 美桜	3	盛岡第三	内金崎 智恵子	早坂 幸雄 飛田 龍
3	松草 こころ	3	盛岡第三		
4	山崎 ひな	3	盛岡第三		
5	ラーマン・アリナ	2	盛岡第三		
6	山田 優衣	3	不来方	牛崎 学 澤田 清美	半田 隆之
7	及川 未愛	3	不来方		
8	黒澤 優奈	3	不来方		
9	高橋 星	2	不来方		
10	田鎖 海麗玲	1	宮古	湊 慎一 高館 信子	田鎖 海璃
11	大下 優亜	3	宮古		
12	三上 乃愛	2	宮古		
13	影田久保 日和	3	宮古		
14	石村 海鈴	3	釜石	佐藤 早也華	萬 文貴
15	照井 万尋	3	釜石		
16	佐野 心洵	2	釜石		
17	小松 倫子	2	釜石		
18	湊 天羅	1	宮古商工	沼山 尚恵	湊 樹理
19	西原 愛	1	専大北上	佐藤 徳信	
20	高橋 七海	2	盛岡第二	高屋 史佳	高橋 未知

男子個人組手出場選手一覧

No	選手名	学年	学校名	監督名	コーチ
1	藤村 亮太郎	2	盛岡第三	内金崎 智恵子	早坂幸雄・飛田龍
2	関向 泰志	3	不来方	牛崎 学 澤田 清美	半田 隆之
3	横沢 千星良	3	不来方		
4	久慈 董	2	不来方		
5	三上 徳希	1	不来方		
6	槻川原 旭望	3	宮古	湊 慎一 高館 信子	田鎖 海璃
7	田鎖 海碧	3	宮古		
8	川添 杏仁	3	宮古		
9	槻川原 朱利	1	宮古		
10	佐藤 大雅	3	釜石商工	山田英之 荒澤 龍	三松 卓
11	坂本 公稔	2	釜石商工		
12	佐々木 新生	2	釜石商工		
13	佐藤 伶磨	1	釜石商工		
14	倉澤 威琉	3	釜石	佐藤 早也華	萬 文貴
15	岩間 瑛心	3	釜石		
16	上野 大雅	2	釜石		
17	人首 颯真	2	釜石		
18	石橋 直樹	3	大船渡	小野 久雄	高橋寿夫・冨澤凌佑
19	菊池 アーチ	2	盛岡中央	佐藤 祐那	菊池 真実
20	鳥畑 鉄平	2	一関修紅	四ノ宮 誠也	鳥畑 伸人

男子団体組手登録選手

学校名	岩手県立不來方高等学校		学校名	岩手県立宮古高等学校	
監督	牛崎 学・澤田清美		監督	湊 慎一・高館信子	
コーチ	半田 隆之		コーチ	田鎖 海璃	
No	氏名	学年	No	氏名	学年
1	関向 泰志	3	1	中村 幸太郎	3
2	横沢 千星良	3	2	田鎖 海碧	3
3	久慈 董	2	3	川添 杏仁	3
4	後藤 龍輝	2	4	槻川原 旭望	3
5	佐々木 佳貴	2	5	松下 宗世	3
6	佐々木 宏音	2	6	小野寺 柊汰郎	2
7	三上 徳希	1	7	槻川原 朱利	1
8	佐藤 利玖	1	8	盛合 寛也	1

学校名	岩手県立釜石商工高等学校		学校名	岩手県立釜石高等学校	
監督	山田英之・荒澤 龍		監督	佐藤 早也華	
コーチ	三松 卓		コーチ	萬 文貴	
No	氏名	学年	No	氏名	学年
1	佐々木 大雅	3	1	倉澤 威琉	3
2	佐藤 大雅	3	2	岩間 瑛心	3
3	坂本 公稔	2	3	上野 大雅	2
4	佐々木 新生	2	4	佐藤 凜汰朗	2
5	佐藤 伶磨	1	5	佐々木 楓舞	2
6	堤 久夢希	1	6	人首 颯真	2
7			7	菅原 賢太	1
8			8	三浦 神虎	1

学校名			学校名		
監督			監督		
コーチ			コーチ		
No	氏名	学年	No	氏名	学年
1			1		
2			2		
3			3		
4			4		
5			5		
6			6		
7			7		
8			8		

学校名			学校名		
監督			監督		
コーチ			コーチ		
No	氏名	学年	No	氏名	学年
1			1		
2			2		
3			3		
4			4		
5			5		
6			6		
7			7		
8			8		

女子団体組手登録選手

学校名	岩手県立盛岡第三高等学校		学校名	岩手県立不来方高等学校	
監督	内金崎 智恵子		監督	牛崎 学・澤田清美	
コーチ	早坂 幸雄・飛田 龍		コーチ	半田 隆之	
No	氏名	学年	No	氏名	学年
1	吉田 美桜	3	1	山田 優衣	3
2	松草 こころ	3	2	及川 未愛	3
3	山崎 ひな	3	3	黒澤 優奈	3
4	櫻井 宇実	2	4	佐々木 海鈴	2
5	冠 美世	2	5	高橋 星	2
6	新沼 心優	2	6	沼口 莉子	2
7	ラーマン・アリナ	2	7	葛巻 玲	1
8			8		

学校名	岩手県立宮古高等学校		学校名	岩手県立釜石高等学校	
監督	湊 慎一・高館信子		監督	佐藤 早也華	
コーチ	田鎖 海璃		コーチ	萬 文貴	
No	氏名	学年	No	氏名	学年
1	影田久保 日和	3	1	石村 海鈴	3
2	大下 優亜	3	2	照井 万尋	3
3	奥地 姫菜	2	3	菊池 楓音	2
4	昆 穂乃花	2	4	高橋 愛里	2
5	三上 乃愛	2	5	佐野 心洵	2
6	船越 結衣	2	6	小松 倫子	2
7	田鎖 海麗玲	1	7	小笠原 真衣	2
8	伊藤 玲奈	1	8	小川 結暖	1

学校名			学校名		
監督			監督		
コーチ			コーチ		
No	氏名	学年	No	氏名	学年
1			1		
2			2		
3			3		
4			4		
5			5		
6			6		
7			7		
8			8		

学校名			学校名		
監督			監督		
コーチ			コーチ		
No	氏名	学年	No	氏名	学年
1			1		
2			2		
3			3		
4			4		
5			5		
6			6		
7			7		
8			8		

(公財) 全国高等学校体育連盟空手道専門部大会申し合わせ事項 (2024. 2. 12)

(公財) 全国高等学校体育連盟空手道専門部

※太文字は 2023 年度 広島選抜大会 申し合わせ文書から追加・変更になる箇所。

I. 選手の服装と頭髪等

[1] 空手道衣 ※巻末：資料①②を参照

- 1) 空手道衣は白無地一色とし、落書きやふちどりのあるものは禁止する。空手道衣上下には高体連指定ラベル（黒色）が貼っていること。また、帯の色は白・茶・黒いずれかとし、ゴムやマジックテープなどを付けることは禁止する。
- 2) 空手道衣の左胸に入れる校名は、次の基準による。
 - ① 一文字の大きさは 5cm×5cm～7cm×7cm とする。（縦書で全体の大きさ 7cm×15cm 程度）
 - ② 字体は丸ゴシック・行書・楷書の範囲とする。
 - ③ 文字の色は黒又は紺又はスクールカラーとする。但し、色を合わせて使うことはできない。
 - ④ 「～高」は必ずしも入れなくてよい。
 - ⑤ 個人名の刺繍を入れる場合は黒色とし、姓（名字）又はフルネームであることが望ましい。（個人名はなくてもよい）
 - ⑥ 指定箇所以外の刺繍は禁止する。
 - ⑦ 業者メーカー刺繍については全空連が認めるようになったのでそれに準じます。
- 3) 空手道衣の左袖上腕部に入れる都道府県名は、次の基準による。
 - ① 一文字の大きさは 5cm×5cm～7cm×7cm とする。
 - ② 都・府・県の文字は入れなくてよい。
 - ③ 字体・文字の色については、上記 2) の ② ③ ⑤ に準ずる。
- 4) 各競技では、赤青帯を着用する。（帯は個人または学校で用意をすること。）
赤青帯には全空連検定ラベルと高体連指定ラベル（灰色）の両方を貼っていること。
帯への刺繍は一切しないことが望ましいが、全空連大会で認められていることもあるので、入れる場合は、下記の通りとする。
所属名 「〇〇高等学校空手道部」、「〇〇高等学校」、「〇〇県高体連」、
「全国高等学校体育連盟」、「全日本空手道連盟」
この類とし、会派流派名や道場名は不可とする。
もう片方は 名前 なお、テーピングテープ等を帯に巻き、刺繍を隠す行為は認めない。
刺繍の色は、金色又は銀色とする。
- 5) ズボンの空きは、ズボン全長にわたって、ズボンと脚との間（シンガードを付けずに、ズボンを片側に寄せた状態）が 8cm から 20cm でなければならない。
（「気をつけ」の状態で判断する。）

[2] 選手の頭髪等

- 1) 男子はスポーツマンらしい頭髪にし、長くても「まゆげ」にかからず、「耳」が見え、「エリアシ」が見えるように整髪する。
- 2) パーマ、リーゼント、ソリ、ヒゲ、染色、脱色を禁止する。
- 3) 女子は、ヘアピン等の危険物の使用及びリボン・鉢巻きの使用を禁止する。空手道衣の下は白無地の T シャツとする。（但し、ワンポイント校名もしくはワンポイントのロゴ入りは認める）

II. 組手競技では男子 5 点・女子 4 点の安全具を必ず着用すること。※資料③を参照

- 1) ニューメンホー VI 及び VII（全空連検定のもの）
- 2) 拳サポーター赤・青（高体連指定のもの）
- 3) ボディプロテクター（高体連指定のもの）
- 4) シンガード・インステップガード（高体連指定のもの）
- 5) セーフティカップ（男子のみ）・・・空手道衣の下に着用すること。

※違反者の参加は反則負けとなる。（正すための時間は 2 分間とする）

※マウスピースを使用してもよい（任意）。ただし、色は白色か透明なものとする。

III. 組手競技・形競技ともにメガネ、コンタクトレンズ（ハード）の使用は禁止とする。但し、コンタクトレンズ（ソフト）の使用は、個人の責任において認める。

IV. 負傷及び再発防止のための包帯、サポーター・テーピングの使用を許可する。但し、次の条件を満たすものであること。

- 1) 攻撃および防御強化のために使用してはならない。
- 2) 相手に危害を及ぼすようなものを中に入れてはならない。
- 3) 装着不備により、競技をしばしば中断させないこと。
- 4) テープの色は、白またはベージュ系の2色のみとする。
- 5) サポーターの色は、白またはベージュ系の2色のみとするが、膝についてはこの限りではない。
- 6) テープとサポーターの同一箇所への兼用は禁止する。
- 7) 清潔な物であること。

[注] あくまでも選手の安全と再発予防のため、軽度の疾病者を対象としたものであり、常識を逸脱するような内容の者及び重傷の出場者を許可するものではない。

※上記に違反した者は当該競技種目のみ反則負けとする。

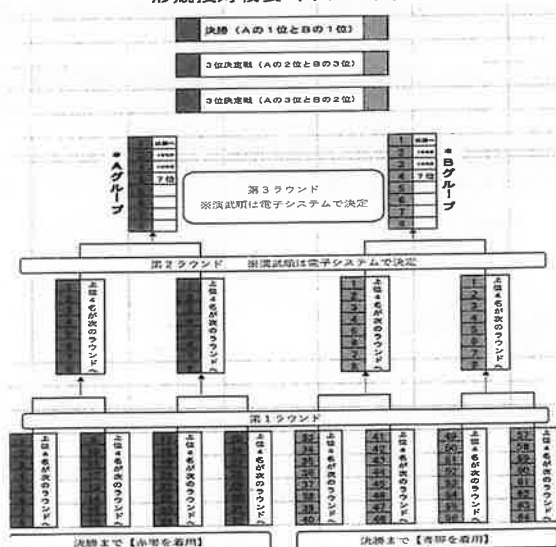
V. 組手競技

- 1) 申し合わせ事項Ⅱ.において指定された安全具を必ず着用すること。※資料③を参照
- 2) 団体競技において、登録されたメンバーの枠の中で、各回戦毎のオーダーの変更はできる。但し、試合毎にオーダー票を提出すること。提出後の変更は認めない。
- 3) 団体競技は、1・2回戦は全員試合を行うが、3回戦以降は勝敗が決まった段階で試合を終了する。
- 4) **団体競技は、初戦から規定の過半数の選手数で成立する。**エントリーは自由に配置できる。
- 5) 一度棄権した選手は、以降の当該種目のみ出場できない。
- 6) 組手競技に於ける危険回避（事故防止）のための遵守事項。
 - ①メンホーは皮膚の一部であり、メンホーの開口部に手を入れたり、掴んだり、押したり、それに関連する動作は全て禁止でペナルティが課せられる。
 - ②メンホーの装着は仕様に従い、しっかり装着すること。
- 7) 倒した、あるいは倒れた相手に対する蹴り技は認められるが、必要以上の加撃がないように充分注意すること。
- 8) ジュニアカデットルールで実施する。上段への技は従来通りとする。接触技は禁止（蹴り技のスキンタッチは許される）、蹴り技は10cm以内、突き技は5cm以内とする。
- 9) **試合が連続し、安全具等の色を変更する場合の休憩時間は、3分間とする。**

VI. 形競技

- 1) 個人形・団体形ともに得点制とする。
- 2) 個人形競技の第1ラウンドは(公財)全日本空手道連盟第1・2指定形とする。第2ラウンド以降は(公財)全日本空手道連盟得意形とし一度使った形は使えない。最低4つの形が必要。
- 3) 団体形競技の第1ラウンドと第2ラウンドは(公財)全日本空手道連盟第1・2指定形とし繰り返してもよい。第3ラウンド以降は(公財)全日本空手道連盟得意形とし一度使った形は使えない。最低3つの形が必要。
- 4) 大戦表の左側は赤帯、右側は青帯を着用。第2ラウンド以降の演武の順番は電子形判定システムによってランダムに決定します。決勝戦・3位決定戦は赤帯側から先に演武する。

形競技対戦表（イメージ）



- 5) 同点(引き分け)は次の順番で勝者を決定する。
 - ① 有効点のうち、最低点が最も高い競技者。
 - ② 有効点のうち、最高点が最も高い競技者。
 - ③ 再試合（使用できる形は次の通り）
 - ・それまでに演武した形は使用できない。
 - ・再試合で使用した形は本戦で使用できる。
 - ・メダルマッチにおける再試合は本戦で使用した形でも良い。

※同点とは上位ラウンド進出に関わる時とメダルマッチの時に同点が出た場合。

※第一指定形・第二指定形及び得意形は空手道競技規定(JKF2023年4月初版)の「付録4:指定形リスト」並びに「付録5:全空連得意形リスト」から選択しなければならない。

- 6) 団体競技は規定の選手数（3人）を満たさないと成立しない。

- 7) 団体競技において登録されたメンバーの枠の中で回戦毎の選手交替は出来る。
- 8) 団体競技において、「よ〜い、はじめ」「なあって」などの発声（合図）は行わない。
- 9) 団体形の3位決定戦・決勝戦は分解を行う。 ※資料⑤を参照

VII. 引率

- 1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。
- 2) 引率責任者は選手のすべての行動に対して責任を持つこと。

VIII. 監督

- 1) 監督は（公財）全日本空手道連盟会員登録者であること。
- 2) 監督は審判員を兼ねることはできない。
- 3) 監督はあらかじめ届け出された学校の指導者（学校長が認めた者）とし、原則1名とするが、競技日程の関係で男女あるいは選手が重複して出場し、同時進行になった場合に限り、運用として当該校の校長が認めた顧問・コーチが、その競技のみの臨時の監督を務めることができる。但し、事前に競技委員長に申し出る義務を有する。
- 4) 監督の服装は以下の通りとする。

※スーツ又はトラックスーツは大会日程によって決定し、「監督・顧問宛文書」(高体連 WebSite)にて通知します。

- ・スーツはダークスーツとし、ネクタイは審判員とは異なるものを着用する。女性はスラックスでもスカートでもよく、ネクタイは着用してもしなくてもよい。
 - ・トラックスーツには学校名を入れることとし、入れる場所、大きさ、字体は問わない。また、華美なトラックスーツは避ける（スクールカラーは可）。
インターハイ時のみトラックスーツの上着は華美でない半袖ポロシャツでも構わない。
※半袖ポロシャツへの学校名記名は問わない。
※ハーフパンツのトラックスーツは禁止する。
 - ・シューズの底については、体育館フロアを傷つけないゴム製や布製のものとする。
- ※上記以外の服装の場合、監督には付けない。

IX. 健康管理

- 1) 競技中の疾病・障害等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
(傷害保険の加入・大会医師の常駐)
- 2) 故障者については、監督の責任で出場を取り止めること。
- 3) 参加選手・役員は、健康保険証を持参すること。

X. その他の注意事項

- 1) 競技中に競技者からのタイムの要求はできない。全て主審または副審のアピールによる。
- 2) 競技者が定位置に戻るときは速やかに戻る。だらしない態度や行動はしないこと。
- 3) 競技者が定位置に立ったときは、完全に静止し主審の合図を待つこと。
- 4) 競技者がポイントを取ったとき、または勝ったときのオーバーアクションやガッツポーズを禁止する。(監督や待機選手も同様とする。)
- 5) 競技者が道衣の上に衣類を着用する場合はだらしない着方をせず、競技開始時や終了時には脱ぐこと。
- 6) 競技者が試合コート内で円陣を作り、氣勢を上げる等の示威行為を禁止する。
- 7) 競技者は、定位置のみならず試合コートへの出入り時にも「礼」をすること。

XI. 審判員心得及び確認事項

- 1) 公平・無私・正確を旨とすること。
- 2) 主審は競技中の主導権を持ち、スムーズな進行に心がける。

XI. 巻末：資料①～⑥

- 資料① 空手道衣に関する規定
資料② 赤・青帯指定業者
資料③ 高体連指定安全具一覧

- 資料④ 各階級測定幅と計量の注意事項
資料⑤ 団体形競技（分解）
資料⑥ ビデオレビューの運用

以上

空手道衣に関する規定について

全国高体連空手道専門部

以下のように定める。また、申し合わせ事項を確認してください。

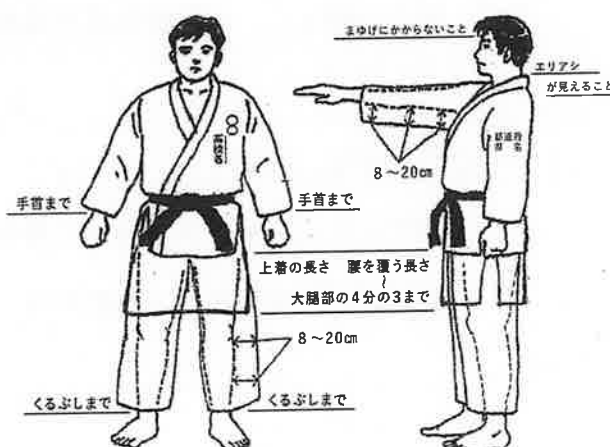
1. 道衣サイズについて
上着腕部分、下着足部分の幅は、腕・足から残りの部分が、8 ～ 20 cmとする。
袖、上着の長さ、下着の裾の長さはルールブック通りとする。
2. 道衣の形について
従来のベーシックなもの（無駄なカット等のないもの）とする。
袖や裾やその他の部分において変形することは禁止とする。
3. 上衣の長さは、帯を締めて腰を覆うほどの長さとし、太ももの4分の3まで。
測定方法として帯を締めた状態で真直ぐ下した状態で膝の上10 cmまでとする。
また、帯の長さは結び目の両端から15 cmほど残る長さから、太ももの4分の3以下とする。
4. 胸紐は付けてはいけない。また上着の紐は付いていなければいけない。
5. 胸の学校名と袖の県名は、刺繍、プリントを問わず色は黒・紺・スクールカラーのどれかとする。（色を合わせて使うことは禁止。）
大きさは5×5 cm～7×7 cmとする。
6. 道衣の名前の刺繍は黒とする。（名前はなくてもよい。）
7. 決められた場所（胸の学校名、袖の県名、上着、下着の名前）以外に刺繍等をすることは禁止とする。ただし、業者メーカー刺繍については、全空連が認めるようになったのでそれに準じます。
8. 道衣（上下）には高体連指定ラベル（黒色）が縫い付けてあること。
高体連ラベルがあっても規定に反する場合は試合に出場できません。
9. 高体連指定ラベル（黒色）は、下記11社にて縫い付け可能です。
東海堂、守礼堂、ヒロタ、東京堂インターナショナル、尚武、
山雅、ミツボシ（HAYATE）、泰生、リュウジンスポーツ（adidas）、
Arawaza Japan（Arawaza）、BUDO SPORTS PRO-SHOP（MOOTO 形用のみ）

（令和6年2月12日現在）

空手道衣の名前の刺繍について

※袖や裾は気を付けの姿勢で計測します。

- 1, 入れなくても良い
- 2, 入れる場合は黒色とする
(白色も禁止)
- 3, 入れる場合は自分の姓（名字）
またはフルネームであることが
望ましい



赤・青帯 指定業者について

赤・青帯の高体連指定業者は全空連指定業者と同じく以下の**5**社です。

東海堂 守礼堂 ヒロタ 尚武 **ミツボシ (HAYATE)**

ただし全空連検定ラベルと高体連指定ラベル（灰色）の両方を貼っているものとする。

上記5社の帯で、高体連ラベルのない帯については、ラベルだけの販売をいたします。

指定業者に帯を持って行き（発送し）、ラベルを縫い付けてもらってください。ただし、ラベルを貼る場所が決まっていますので、ラベルを購入し個人で縫い付けることはしないようにしてください。

赤・青帯の刺繍について

本来のルールでは、刺繍を一切しないことになっていますが、入れる場合は以下の通りとなります。

所属名は 「〇〇高等学校空手道部」「〇〇高等学校」

「〇〇県高体連」「全国高等学校体育連盟」

「全日本空手道連盟」

※この類とし、会派流派名や道場名は不可です。

もう片方は、名前

※テーピングテープ等を帯に巻き刺繍を隠す行為は認めません。

※刺繍の色は「金色・銀色のみ」とします。

高体連指定安全具について（安全具チェック参考）

令和6年2月12日現在

安全具	指定メーカー及び注意事項	ラベル	プリント
メンホー	全空連検定品 ミズノ製 ニューメンホーⅥ又はⅦ ※ミズノ製マウスシールドの装着は任意 (装着する場合はテープで固定する)	なし	なし
拳サポーター	ミズノ 東海堂 守礼堂 ヒロタ ミツボシ (HAYATE) ※メンホー使用大会では全空連仕様の薄手タイプ (従来型)	(JKF)	なし
ボディ プロテクター	ミズノ ※首掛け又は腹掛けタイプ (高体連ラベルは不要)	なし	(JKF)
	東海堂 ※男子用 (ラベルなし、高体連マークがプリント) ※女子用 (青色の高体連ラベルがついたもの)	女子 ○	男子 ○
	守礼堂 ※首掛け又は腹掛けタイプ (ラベルは折って縫い付け)	(○)	○
	ヒロタ 東京堂インターナショナル ※腹掛けタイプ	○	なし
シンガード	ミズノ 東海堂 守礼堂 ヒロタ 東京堂インターナショナル ミツボシ (HAYATE) の全6社 ※ミズノ 東海堂 (高体連マークがプリントされたものも使用可)	○	○
インステップ ガード	ミズノ 東海堂 守礼堂 ヒロタ 東京堂インターナショナル ミツボシ (HAYATE) の全6社 ※足の指先まで保護されたインステップガードは、ミズノ、東海堂、 ヒロタ、ミツボシ (HAYATE) の4社が指定品となります。	なし	○

◇安全具チェックについて

メンホーはミズノ製のみ (両耳前部分のミズノマークのシールや額部分の全空連マークの刻印を確認)。
拳サポーターは全空連検定の薄型 (従来型)。ミズノ製ボディプロテクターは全空連マークのプリント。
その他の安全具は、高体連ラベルが縫い付けてあるか高体連マークがプリントされています。

空手道競技の見方

組手競技の見方

1. 勝敗とポイント

- ① 競技時間は2分間とし、競技時間内に8ポイント差になった時点で勝敗が決まる。
- ② 競技時間内に勝敗が決まらない場合は、時間終了の際に得点の多い方を勝者とする。
- ③ 同点の場合は先取をとった方の勝ちとなるが、両選手ともに先取がない場合は、1本の多い方、次に技ありの多い方。さらに同じ場合は副審4名と主審の判定により勝者を決定する（個人戦、団体戦の代表戦）。
- ④ 「1本」（3ポイント）は、次の技に与えられる。
a) 上段蹴り b) 足の裏以外の部位がマットに接している相手に対する得点技
- ⑤ 「技あり」（2ポイント）は、中段蹴りに与えられる。
- ⑥ 「有効」（1ポイント）は、上段・中段の突き、または打ちに与えられる。

1本（3ポイント）



上段蹴り、足の裏以外の部位
が床についた相手への有効技

技あり（2ポイント）



中段蹴り

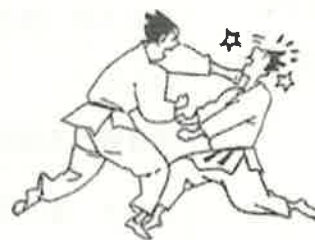
有効（1ポイント）



中段突き、上段突き、打ち

2. 禁止行為

- ① 攻撃部位への過度の接触技、喉への接触技
- ② 腕、脚部、股間部、関節、または足の甲への攻撃
- ③ 開手による顔面への攻撃
- ④ 「分かれて」の後「続けて」の前に技を出すこと
- ⑤ 危険な、または禁止されている投げ技
- ⑥ 負傷を装うこと、または誇張すること
- ⑦ 原因が相手によるものでない場合
- ⑧ 自ら負傷を受けやすいような行動を取ることを、または自己防衛できなかった場合（無防備）
- ⑨ 相手に得点を取られないように格闘を避けること
- ⑩ 不活動（戦おうとしない）
- ⑪ 投げまたはその他の技をかけようとせず、組み合い、レスリング、押し合い、つかみ合い、または胸を付き合わせたりすること
- ⑫ 相手の蹴り足を掴み倒す場合を除き、両手で相手を掴むこと
- ⑬ 相手の腕または空手着を片手で掴み、即座に得点技または倒そうとしなかった場合。または、投げられないよう相手を掴み続けること
- ⑭ 相手の安全を損なう技、または危険でコントロールされていない技
- ⑮ 頭部、膝、肘で攻撃をしようとした場合
- ⑯ 主審の命令に従わないこと。相手選手に話しかけること、または相手を刺激すること。審判団に対する無作法な態度、または道徳に反する行為（失格になる場合もある）

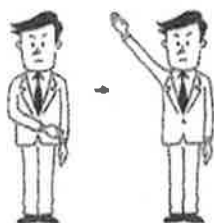


3. 罰 則

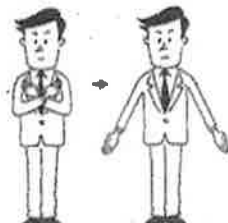
- ① ウォーニング 注意(最大3回まで)・反則注意(相手にポイントは入らない)
- ② ペナルティー 反則・失格
反則: 勝者は8ポイント、敗者は0ポイント(団体戦の場合)
失格: 勝者は8ポイント、敗者は0ポイント(団体戦の場合)

4. 組手競技における主審の表示 (技粋)

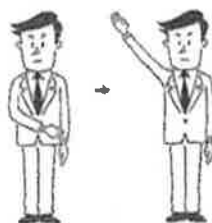
■勝ち



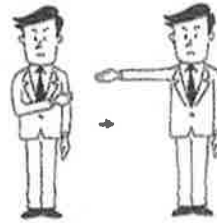
■引き分け



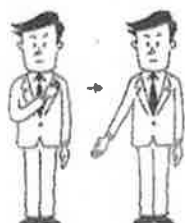
■1本



■技有り



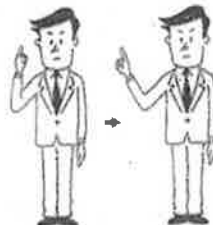
■有効



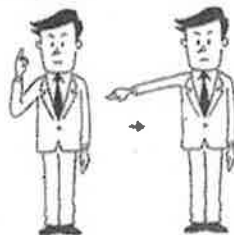
■先取



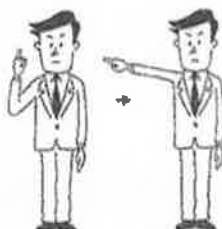
■注意



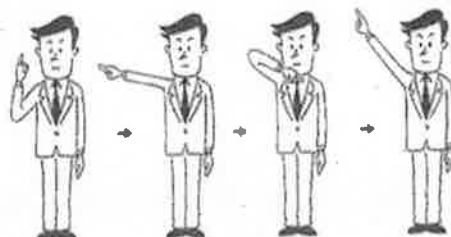
■反則注意



■反則



■失格



形競技の見方

1. 形の種類

- ① 形競技の個人戦第1ラウンド及び団体戦第1ラウンドと第2ラウンドは、(公財)全日本空手道連盟第1及び第2指定形とする。団体戦の場合、第1ラウンドと第2ラウンドは同じ形を繰り返してもよい。
- ② 個人戦の第2ラウンド以降又は団体戦の第3ラウンド以降については、それ以前のラウンドで演武した形以外の得意形とする。但し、第一指定形・第二指定形及び得意形はJKF空手道競技規定(2023年4月1日施行)の「付録4:全空連指定形リスト」並びに「付録5:全空連得意形リスト」から選択しなければならない。
- ③ 団体形の3位決定戦及び決勝戦では、形演武の後にその形の分解を行う。

2. 競技方法と勝敗

- ① 全ラウンドとも、得点方式で実施する。審判団は5.0から10.0までの点数を0.1刻みで評価する。
- ② 5又は7名の審判員から出された得点より、最高点及び最低点を1名ずつ除外した得点で算出される。
審判員が判定する形演武の基準、()は分解演武の基準。
立ち方、技、流れるような動き、タイミング及び同時性[タイミングと間合い]、正確な呼吸[コントロール]、極め、適合性:流派の基本の一貫性[形演武での実際の動きを使用しているか]、力強さ、スピード、バランス
- ③ 第1ラウンド、第2ラウンドについては、各プールの上位4名が次のラウンドに進出する。
- ④ 第3ラウンドの各プールの1位の競技者が決勝戦に進出する。また、各プールの2位の競技者と3位の競技者が3位決定戦に進出する。このとき、片方のプールの2位と反対のプールの3位が対戦する。
- ⑤ 同点の場合は再試合を行うが、どの競技者が次のラウンドに進出するか、または順位決定が必要な時のみ実施する。再試合では、それまでに演武した形は使用できない。再試合で使用した形は本戦で使用できる。メダルマッチにおいての再試合は本戦で使用した形でも良い。

